

## 平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月10日

上場会社名 青山商事株式会社

上場取引所 東大

コード番号 8219 URL <http://www.aoyama-syouji.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼執行役員社長 (氏名) 青山 理

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役兼専務執行役員企画管理 本部長 (氏名) 宮武 真人

TEL 084-920-0050

四半期報告書提出予定日 平成21年11月12日

配当支払開始予定日

平成21年11月27日

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	85,680	△6.6	2,548	△50.8	△1,192	—	△1,991	—
21年3月期第2四半期	91,707	—	5,181	—	7,632	—	2,752	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
22年3月期第2四半期	△31.32	—
21年3月期第2四半期	43.29	43.29

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円銭	百万円	円銭	%	円銭
22年3月期第2四半期	326,291	—	220,156	—	66.9	3,433.81
21年3月期	346,047	—	223,183	—	64.0	3,482.04

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 218,326百万円 21年3月期 221,397百万円

### 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
21年3月期	—	20.00	—	25.00	45.00
22年3月期	—	20.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	194,700	△5.8	12,000	△32.9	8,800	△55.2	3,300	△53.3	51.90

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

[(注)詳細は、8ページ【定性的情報・財務諸表】4. その他をご覧ください。]

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第2四半期 67,394,016株 21年3月期 67,394,016株

② 期末自己株式数 22年3月期第2四半期 3,812,441株 21年3月期 3,811,467株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第2四半期 63,581,962株 21年3月期第2四半期 63,582,507株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

業績予想の前提となる条件等については、7ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

「参考」個別業績予想

平成22年3月期の個別業績予想（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	160,700	△4.5	10,000	△33.2	7,400	△57.2	3,000	△52.0	47	18

(注) 個別業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

《セグメント別の概況》

	売上高				営業利益			
	当期	前期	増減額	伸率(%)	当期	前期	増減額	伸率(%)
紳士服販売事業	70,497	75,020	△4,522	△6.0	1,796	3,544	△1,747	△49.3
カード事業	3,075	3,958	△882	△22.3	350	1,131	△781	△69.1
商業印刷事業	4,561	4,921	△359	△7.3	△104	△37	△67	—
雑貨販売事業	8,995	9,355	△359	△3.8	306	280	25	9.2
消去又は全社	(1,450)	(1,548)	97	—	200	261	△61	—
合計	85,680	91,707	△6,026	△6.6	2,548	5,181	△2,632	△50.8

(1) 紳士服販売事業〔青山商事(株)、カジュアルランドあおやま(株)、ブルーリバーズ(株)、(株)エム・ディー・エス、(株)栄商〕

① 当第2四半期連結累計期間(平成21年4月1日から平成21年9月30日まで)におけるわが国経済は、雇用環境の悪化や個人所得の低下など依然として厳しい状況が続きました。また、個人消費につきましても、雇用環境の悪化などによる消費者心理の冷え込みに加え、梅雨明けの遅れや例年に比べ気温が低く推移するなど天候不順の影響などから一層厳しさを増しました。

このような経営環境下、青山商事(株)につきましては、引き続き一都三県を中心とした積極的な出店を実施するなどマーケットシェア拡大をすすめるとともに、現状の厳しい消費環境を踏まえ、高付加価値商品を低価格で提供するなど客数増加のための施策を積極的に実施いたしました。

しかしながら、消費者の購買態度が極めて慎重であることなどから、スーツを中心に売上高が減少し、当第2四半期まで(4月～9月)の既存店売上高は前年同期比91.1%と大変厳しい結果となりました。

なお、4月から9月までの6ヶ月間のメンズスーツの販売着数は前年同期比94.0%の1,011千着となり、スーツの平均販売単価は前年同期比98.3%の24,936円となりました。

店舗につきましては、当第2四半期まで(4月～9月)に「洋服の青山」において21店舗を出店(内6店舗は移転・建替)し、非効率な1店舗を閉店いたしました。また、「プラスエー・ザ・スーツ・アオヤマ」は、3店舗を閉店し業態を解消いたしました。「ザ・スーツカンパニー」では非効率な1店舗を閉店いたしました。なお平成21年9月末の店舗数は巻末の参考資料をご参照ください。

＜スーツ事業の既存店売上・客数・客単価の前年同期比推移＞ (単位：%)

	平成19年9月期	平成20年9月期	平成21年9月期
売上	101.1	95.3	91.1
客数	98.3	96.7	92.6
客単価	102.9	98.6	98.4

＜メンズスーツの販売着数並びに平均販売単価推移＞

	平成19年9月期	平成20年9月期	平成21年9月期
販売着数(千着)	1,132	1,075	1,011
平均販売単価(円)	25,135	25,363	24,936

- ② カジュアルランドあおやま(株)につきましては、平成21年5月より、イメージキャラクターに俳優井上正大を新たに起用するなど新たな客層の取り込みを図りました。しかしながら、梅雨明けの遅れなど天候不順の影響などにより当第2四半期まで(4月～9月)の既存店売上高は前年同期比87.7%となりました。

なお、平成21年9月末の店舗数は30店舗であります。

<キャラジャ事業の既存店売上・客数・客単価の前年同期比推移> (単位：%)

	平成19年9月期	平成20年9月期	平成21年9月期
売上	78.2	98.6	87.7
客数	79.1	96.1	92.9
客単価	98.8	102.6	94.4

- ③ こうしたことから、紳士服販売事業の売上高は704億97百万円(前年同期比94.0%)となり、営業利益につきましては、チラシ経費を効率的に使用するなど経費削減に努めたものの、売上高の減少などから17億96百万円(前年同期比50.7%)となりました。

## (2) その他事業

- ① カード事業につきましては、改正貸金業法等の影響などから、売上高30億75百万円(前年同期比77.7%)、営業利益3億50百万円(前年同期比30.9%)となりました。

なお、平成21年8月末現在の「AOYAMAカード」の有効会員数は366万人となりました。

<カード事業におけるAOYAMAカード有効会員数並びに営業貸付金残高の推移>

	平成20年8月期	平成21年2月期	平成21年8月期
有効会員数(万人)	353	359	366
営業貸付金残高(百万円)	59,499	60,039	53,583

- ② 商業印刷事業につきましては、企業のチラシ経費抑制による受注高の減少や受注競争の激化に伴う受注単価の下落などにより、売上高45億61百万円(前年同期比92.7%)、営業損失1億4百万円(前年同期は営業損失37百万円)となりました。
- ③ 雑貨販売事業につきましては、他業態からの参入など業界の競争が一層苛烈さを増す中、さらなるローコストオペレーションに努めた結果、売上高89億95百万円(前年同期比96.2%)、営業利益3億6百万円(前年同期比109.2%)となりました。

店舗につきましては、当第2四半期まで(3月～8月)に2店舗を出店し、非効率な4店舗を閉店いたしましたので、平成21年8月末の店舗数は134店舗(前年同期末137店舗)となりました。

なお、上記の事業別売上高、営業利益(損失)はグループ内相殺前の数値であります。

## (3) 連結経営成績

上記の結果、当第2四半期累計期間の当社グループにおける売上高は856億80百万円(前年同期比93.4%)、営業利益は25億48百万円(前年同期比49.2%)となりました。

営業外費用では、平成21年9月末の為替レートが平成21年3月末に比べ大幅な円高となったことなどにより「包括的長期為替予約契約(クーポンスワップ契約)」等に係るデリバティブ評価損35億99百万円(前年同期はデリバティブ評価益16億72百万円)を計上したことなどから、経常損失は11億92百万円(前年同期は経常利益76億32百万円)となりました。なお、本「包括的長期為替予約契約(クーポンスワップ契約)」に係る「デリバティブ評価損益」につきましては、皆様に十分なご理解を頂きたいと、以下に補足説明させていただいております。

特別損失では、紳士服販売事業等において、減損損失12億67百万円、店舗の閉店、移転等に伴う固定資産除売却損2億28百万円を計上いたしました。

この結果、当第2四半期純損失は19億91百万円(前年同期は第2四半期純利益27億52百万円)となりました。

<補足>「包括的長期為替予約契約（クーポンスワップ契約）」に係る「デリバティブ評価損益」について

(1) はじめに

平成22年3月期第2四半期におきましてデリバティブ評価損により、経常損失を計上しておりますが、当社といたしましてはこの評価損は実態収益に影響が無いものと判断しております。以下「包括的長期為替予約契約（クーポンスワップ契約）」に係る「デリバティブ評価損益」について、補足説明させていただくにあたり、連結のデリバティブ評価損35億99百万円には、一部、関連子会社における包括的長期為替予約契約（クーポンスワップ契約）に係るデリバティブ評価損を含んでおりますが、大部分が当社個別の包括的長期為替予約契約（クーポンスワップ契約）に係るデリバティブ評価損であることから、個別の本契約に係る「デリバティブ評価損益」についてご説明させていただきます。

(2) 契約の目的並びに内容

当社の仕入については、その大半が海外からの仕入れとなっているため、常に為替変動リスクに晒されており、そのリスクをヘッジする目的で平成14年および平成19年に6つの金融機関との間で、期間10年から12年の包括的長期為替予約契約（クーポンスワップ契約）を締結し、現在実行中であります。なお、平成21年9月末時点において、残りの契約期間は、長いもので8年6ヶ月、短いもので2年6ヶ月となっております。

また、平均契約為替レートは102円程度であり、予約金額は、年間平均約1億ドルと、当社の海外からの年間仕入総額の2割程度であります。

(3) 包括的長期為替予約契約に係る会計処理

会計処理につきましては、平成14年の契約当初は「ヘッジ会計」を適用し、「デリバティブ評価損益」を損益計算書に計上しておりませんでした。包括的長期為替予約契約（クーポンスワップ契約）に関する会計基準の明確化に対応し、平成17年3月期より「時価会計」を適用し、「デリバティブ評価損益」は損益計算書に計上することになりました。

「時価会計」では、本契約の時価を貸借対照表の資産または負債に「為替予約」として計上し、当期末と前期末の本契約の時価の差額を「デリバティブ評価損益」として損益計算書に計上することになります。

本契約の時価とは、包括的長期為替予約契約を各期末のドル円為替相場と日米金利差で評価したもので、いわば評価時点で契約を解約した場合の手仕舞いコストであります。

(4) 現状の時価および評価損

本契約の平成21年3月末の時価はマイナス51億57百万円でしたが、為替相場が円高に振れたことが主要因で平成21年9月末の時価はマイナス87億57百万円となり、そのため平成22年3月期第2四半期の本契約に係るデリバティブ評価損を36億円計上いたしました。なお、個別の営業外費用として計上しているデリバティブ評価損35億86百万円には、本契約に係るデリバティブ評価損以外に金利スワップ契約に係る評価益が含まれております。

(5) 終わりに

- ① 当社としては、この包括的長期為替予約契約を期日前に解約することは考えておらず、従いまして本契約に係る時価評価(手仕舞いコスト)及びその結果計算される「デリバティブ評価損益」は当社の実態損益に影響を与えるものではないと判断しております。
- ② また、当社個別の当期純利益に対する配当性向30%を目処として一部業績連動配当を実施しておりますが、上記の考え方にに基づき、配当金計算の基礎となる利益から「デリバティブ評価損益」を除外しているわけであります。
- ③ なお、上記のように当社の取得するドルのレートは概ね平均102円であるため、期中のドルへの交換分につきましては為替差損（平成22年3月期第2四半期で約8億円程度）が生じており、これについては、上記評価損益とは別に営業外費用に計上しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における資産について流動資産は1,655億55百万円（前期末比195億50百万円減）となりました。これは主として、現金及び預金が61億18百万円、受取手形及び売掛金が50億53百万円、有価証券が29億32百万円、営業貸付金が64億56百万円それぞれ減少したことによるものです。

固定資産は1,607億36百万円（前期末比2億5百万円減）となりました。これは主として、有形固定資産が11億82百万円増加いたしました。投資その他の資産が15億32百万円減少したことによるものであります。

この結果、資産合計は、3,262億91百万円（前期末比197億56百万円減）となりました。

負債について流動負債は544億3百万円（前期末比251億65百万円減）となりました。これは主として、支払手形及び買掛金が60億98百万円、未払金が85億75百万円、未払法人税等が41億58百万円、1年内償還予定の社債が100億円それぞれ減少したことによるものであります。

固定負債は、517億30百万円（前期末比84億35百万円増）となりました。これは主として、社債が90億円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は1,061億34百万円（前期末比167億29百万円減）となりました。

純資産合計については2,201億56百万円となり、前期末と比べ、30億26百万円の減少となりました。これは主として、デリバティブ評価損35億99百万円の計上により利益剰余金が35億97百万円減少したことによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

<個別業績予想>

下期も引き続き一都三県を中心とした出店、移転・建替などにより、マーケットシェアの拡大を図るとともに、現在の厳しい消費環境を勘案し、価格訴求を中心とした「総力祭」の実施や高付加価値商品を低価格で提供するなど客数増加のための施策を引き続き実施してまいります。

しかしながら、下期も厳しい経済環境が予想され、個人消費につきましては、景気の先行き不安や雇用環境の悪化、個人所得の低下などから消費者の購買態度は一層慎重になることが予想されます。

こうしたことから、下期の既存店売上高は前年同期比93.5%（前回予想は前年同期比97.0%）と前回予想を下回らざるを得ないと考えております。これを踏まえて、下期の売上総利益、経費を見直した結果、通期の営業利益は前回予想と同額（変更なし）となる見込みであります。

また、営業外損益では、平成22年3月末の為替相場、日米金利差が平成21年9月末と不変であるとの前提のもとに、営業外費用としてデリバティブ評価損27億10百万円（前回予想はデリバティブ評価益15億30百万円）を見込んでいることから、経常利益並びに当期純利益は前回予想を下回る見込みであります。

この結果、通期の業績は、売上高1,607億円、営業利益100億円、経常利益74億円、当期純利益30億円と予想しております。

なお、都心の郊外の大規模ショッピングセンターを出店立地とした「ザ・スーツカンパニーズ ウィークエンド」は、今下期中に8店舗を閉店、4店舗を「ザ・スーツカンパニー」に業態変更し、業態を解消する予定であります。

<連結業績予想>

その他の事業につきましては、事業ごとに業績のバラつきはあるものの、利益については概ね前回予想通りとなる見込みであります。

この結果、通期の連結業績は、売上高1,947億円、営業利益120億円、経常利益88億円、当期純利益33億円と予想しております。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理

一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められる場合、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実行税率を合理的に見積もり、税引前四半期純損失に当該見積実行税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。



5. 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	28,670	34,788
受取手形及び売掛金	6,204	11,257
有価証券	23,823	26,756
商品及び製品	43,430	43,447
仕掛品	70	55
原材料及び貯蔵品	462	462
営業貸付金	53,583	60,039
その他	10,088	9,226
貸倒引当金	△778	△929
流動資産合計	165,555	185,105
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	122,657	117,449
減価償却累計額	△60,577	△59,002
建物及び構築物(純額)	62,079	58,446
その他	49,423	52,565
減価償却累計額	△9,448	△10,139
その他(純額)	39,974	42,425
有形固定資産合計	102,054	100,872
無形固定資産	2,011	1,867
投資その他の資産		
敷金及び保証金	30,055	31,172
その他	26,671	27,085
貸倒引当金	△56	△56
投資その他の資産合計	56,669	58,202
固定資産合計	160,736	160,941
資産合計	326,291	346,047

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,878	18,977
短期借入金	15,195	14,310
1年内償還予定の社債	—	10,000
未払法人税等	746	4,904
賞与引当金	1,352	1,292
その他	24,230	30,084
流動負債合計	54,403	79,569
固定負債		
社債	29,000	20,000
長期借入金	13,500	13,665
退職給付引当金	3,329	3,241
ポイント引当金	2,802	2,981
その他	3,099	3,407
固定負債合計	51,730	43,295
負債合計	106,134	122,864
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	62,504	62,504
資本剰余金	62,975	62,975
利益剰余金	122,767	126,365
自己株式	△12,247	△12,245
株主資本合計	236,001	239,600
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	52	△398
繰延ヘッジ損益	—	△64
土地再評価差額金	△17,726	△17,739
評価・換算差額等合計	△17,674	△18,203
新株予約権	159	123
少数株主持分	1,670	1,662
純資産合計	220,156	223,183
負債純資産合計	326,291	346,047

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	91,707	85,680
売上原価	40,719	38,997
売上総利益	50,988	46,683
販売費及び一般管理費	45,807	44,134
営業利益	5,181	2,548
営業外収益		
受取利息	223	252
受取配当金	93	128
不動産賃貸料	—	174
デリバティブ評価益	1,672	—
その他	548	284
営業外収益合計	2,538	839
営業外費用		
支払利息	61	165
デリバティブ評価損	—	3,599
その他	25	815
営業外費用合計	86	4,581
経常利益又は経常損失(△)	7,632	△1,192
特別利益		
固定資産売却益	5	25
貸倒引当金戻入額	—	68
特別利益合計	5	93
特別損失		
減損損失	1,734	1,267
固定資産除売却損	618	228
投資有価証券評価損	5	—
特別損失合計	2,357	1,496
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	5,280	△2,595
法人税等	2,465	△670
少数株主利益	61	66
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,752	△1,991

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

該当事項はありません。

「参考資料」

1. 四半期財務諸表

- (1) 四半期個別財務諸表は、法定開示におけるレビューの対象ではありません。
- (2) 「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成に関する規則」(平成19年内閣府令第63号)に従い四半期財務諸表を作成しております。

① 四半期貸借対照表

区分	当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)		前事業年度末に係る 貸借対照表 (平成21年3月31日)	
	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)
(資産の部)				
I 流動資産				
1 現金及び預金		23,181		26,341
2 有価証券		23,823		26,557
3 商品及び製品		39,964		39,891
4 原材料及び貯蔵品		276		277
5 関係会社短期貸付金		23,000		32,000
6 その他		11,685		15,499
貸倒引当金		△1		△4
流動資産合計		121,931	43.0	140,562
II 固定資産				
1 有形固定資産				
(1) 建物	98,947		93,457	
減価償却累計額	△49,233	49,714	△47,674	45,782
(2) 土地		30,492		30,426
(3) その他	36,844		38,409	
減価償却累計額	△19,175	17,669	△18,193	20,216
有形固定資産合計		97,875		96,425
2 無形固定資産		1,725		1,545
3 投資その他の資産				
(1) 敷金及び保証金		29,259		30,366
(2) その他		33,063		33,593
貸倒引当金		△42		△45
投資その他の資産合計		62,280		63,914
固定資産合計		161,881	57.0	161,884
資産合計		283,812	100.0	302,447

区分	当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)		前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)	
	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)
(負債の部)				
I 流動負債				
1 支払手形及び買掛金	10,010		15,186	
2 短期借入金	10,000		10,000	
3 未払法人税等	351		4,397	
4 賞与引当金	1,179		1,128	
5 その他	24,191		30,362	
流動負債合計	45,732	16.1	61,074	20.2
II 固定負債				
1 長期借入金	8,000		8,000	
2 社債	10,000		10,000	
3 退職給付引当金	3,173		3,095	
4 ポイント引当金	2,786		2,970	
5 その他	2,692		2,992	
固定負債合計	26,651	9.4	27,057	8.9
負債合計	72,384	25.5	88,131	29.1
(純資産の部)				
I 株主資本				
1 資本金	62,504		62,504	
2 資本剰余金	62,975		62,975	
3 利益剰余金	115,523		118,976	
4 自己株式	△12,247		△12,245	
株主資本合計	228,756	80.6	232,210	76.7
II 評価・換算差額等				
1 その他有価証券 評価差額金	51		△398	
2 繰越ヘッジ損益	—		△64	
3 土地再評価差額金	△17,539		△17,556	
評価・換算差額等合計	△17,487	△6.2	△18,019	△5.9
III 新株予約権	159	0.1	123	0.0
純資産合計	211,428	74.5	214,315	70.9
負債純資産合計	283,812	100.0	302,447	100.0

② 四半期損益計算書

区分	前第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)			当第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)		
	金額(百万円)		百分比 (%)	金額(百万円)		百分比 (%)
I 売上高		72,309	100.0		68,727	100.0
II 売上原価		29,809	41.2		28,871	42.0
売上総利益		42,500	58.8		39,855	58.0
III 販売費及び一般管理費		39,050	54.0		38,125	55.5
営業利益		3,450	4.8		1,730	2.5
IV 営業外収益						
1 受取利息配当金	525			744		
2 不動産賃貸料	239			291		
3 デリバティブ評価益	1,665			—		
4 その他	347	2,778	3.8	171	1,207	1.8
V 営業外費用						
1 支払利息	38			147		
2 デリバティブ評価損	—			3,586		
3 その他	5	43	0.1	803	4,536	6.6
経常利益又は経常損失		6,184	8.5		△1,599	△2.3
VI 特別利益						
1 固定資産売却益	4			25		
2 その他	4	9	0.0	—	25	0.0
VII 特別損失						
1 減損損失	1,635			1,016		
2 固定資産除売却損	587	2,223	3.1	219	1,235	1.8
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失		3,970	5.4		△2,809	△4.1
法人税等		1,765	2.4		△963	△1.4
四半期純利益又は四半期純損失		2,205	3.0		△1,846	△2.7

2. スーツ事業の商品別売上高

(単位：百万円)

		前第2四半期 累計期間		当第2四半期 累計期間		前事業年度	
		自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日		自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日		自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
			%		%		%
重衣料	スーツ・スリーピース	28,332	39.2	26,302	38.3	68,414	40.7
	ジャケット	3,177	4.4	2,862	4.1	6,509	3.9
	スラックス	4,422	6.1	4,309	6.3	7,644	4.6
	コート	93	0.1	71	0.1	5,052	3.0
	礼服	10,208	14.1	9,741	14.2	20,386	12.0
	小 計	46,234	63.9	43,287	63.0	108,007	64.2
軽衣料	シャツ・洋品類	12,096	16.7	11,162	16.2	25,731	15.3
	カジュアル類	3,718	5.1	3,707	5.4	7,904	4.7
	その他商品	7,712	10.7	8,096	11.8	20,859	12.4
	小 計	23,528	32.5	22,966	33.4	54,495	32.4
ポイント還元額		1,267	1.8	1,197	1.7	2,783	1.6
補正加工賃		1,279	1.8	1,274	1.9	2,951	1.8
合 計		72,309	100.0	68,727	100.0	168,237	100.0

(注) 「その他商品」は、靴・肌着・雑貨・レディス等であります。



3. スーツ事業の店舗数

(単位：店)

地 域	平成20年9月末 店舗数	平成21年9月末 店舗数	平成21年3月末		平成21年3月末 店舗数
			洋服の青山	ザ・スーツ カンパニー	
北海道	34	35	33	2	35
北海道地方計	34	35	33	2	35
青森県	9	9	9	0	9
岩手県	8	8	8	0	8
宮城県	13	13	12	1	13
秋田県	9	9	9	0	9
山形県	9	9	9	0	9
福島県	11	11	11	0	11
東北地方計	59	59	58	1	59
茨城県	20	19	17	2	20
栃木県	11	10	10	0	11
群馬県	15	15	14	1	15
埼玉県	35	41	37	4	38
千葉県	26	31	28	3	27
東京都	75	80	65	15	80
神奈川県	36	39	36	3	36
関東地方計	218	235	207	28	227
新潟県	18	18	17	1	18
富山県	7	7	7	0	7
石川県	8	8	7	1	8
福井県	5	5	5	0	5
山梨県	4	4	4	0	4
長野県	14	15	15	0	14
岐阜県	13	13	12	1	13
静岡県	26	26	25	1	26
愛知県	43	44	42	2	43
中部地方計	138	140	134	6	138
三重県	12	13	12	1	13
滋賀県	10	10	10	0	10
京都府	15	17	16	1	17
大阪府	42	43	41	2	43
兵庫県	39	39	37	2	39
奈良県	9	9	9	0	9
和歌山県	8	8	8	0	8
近畿地方計	135	139	133	6	139

(単位：店)

地 域	平成20年9月末 店舗数	平成21年9月末 店舗数	平成21年9月末		平成21年3月末 店舗数
			洋服の青山	ザ・スーツ カンパニー	
鳥取県	3	3	3	0	3
島根県	5	5	5	0	5
岡山県	11	11	10	1	11
広島県	22	22	19	3	22
山口県	11	11	11	0	11
中国地方計	52	52	48	4	52
徳島県	5	5	5	0	5
香川県	7	7	7	0	7
愛媛県	8	8	8	0	8
高知県	5	5	5	0	5
四国地方計	25	25	25	0	25
福岡県	29	29	28	1	29
佐賀県	8	8	8	0	8
長崎県	7	7	7	0	7
熊本県	10	10	10	0	10
大分県	9	9	9	0	9
宮崎県	10	10	10	0	10
鹿児島県	12	12	12	0	12
沖縄県	7	7	7	0	7
九州地方計	92	92	91	1	92
合 計	753	777	729	48	767

(注) 1 「ユニバーサル ランゲージ」(平成21年9月末で5店舗(北海道1店舗、東京都2店舗、神奈川県1店舗、大阪府1店舗))は、「ザ・スーツカンパニー」に含めております。

2 「ザ・スーツカンパニーズ ウィークエンド」(平成21年9月末で12店舗(茨城県2店舗、群馬県1店舗、埼玉県3店舗、千葉県2店舗、神奈川県1店舗、岐阜県1店舗、愛知県1店舗、三重県1店舗))は、「ザ・スーツカンパニー」に含めております。

3 店舗の出退店等の状況(平成21年4月～9月)

業態	出店	内		退店
		移転	建替	
洋服の青山	21	6		1
プラスエー・ザ・スーツ・アオヤマ				3
ザ・スーツカンパニー				1
計	21	6		5